

2012 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 13:25~14:25 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 下の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

8世紀において、律令制度による政治の仕組みが確立されたが、農民は、税の負担①だけではなく、兵役や労役などの負担を負わなければならない、天候不順や虫害などともなう飢饉にも見舞われ、不安定で苦しい生活②を強いられた。このような状況にあって、浮浪や逃亡が続出し、養老元年の詔には、「率土の百姓、四方に浮浪して課役を規避し、遂に王臣に仕へて、或は [ 1 ] を望み、或は [ 2 ] を求む。王臣本属を経ず私に自ら駆使し、国郡に囑請して遂に其の志を成す。茲に困りて、天下に流宕して郷里に帰らず。若し斯の輩有りて、輒ち私に容止せば、状を揆りて罪を科すること、並に律令の如くせよ」(『続日本紀』、原漢文)と記されている。また、当時の農民の窮乏生活を示すものとして、『万葉集』の貧窮問答歌③が挙げられる。

9世紀になると、農民間における貧富の差が拡大し、浮浪や逃亡も激しくなり、戸籍・計帳による農民の把握が難しくなった。このような状況において、朝廷は、天皇家の [ 3 ]、大宰府などの [ 4 ]、畿内諸国の [ 5 ]、諸官庁の [ 6 ] という直営の田を設置して、有力農民を利用した直営方式の採用による収納物の確保につとめた。また、地方の有力農民は、私営田に対する国司の課税を逃れるために、[ 7 ] と呼ばれた中央の有力貴族に保護を求め、私営田そのものがその有力貴族の荘園となった。

902(延喜2)年には、延喜の [ 8 ] が出され、律令制度の維持が図られたが、徴税を逃れるための偽籍が作られるなど、戸籍・計帳の制度が崩れ、班田収授も行われなくなり、国衙領は、次第に [ 9 ] と呼ばれる有力農民が耕作と納税を請け負うようになった。そのような有力農民の請負地の多くは [ 10 ] と呼ばれ、その請負人としての権利が強められて、11世紀には [ 9 ] は、[ 11 ] へと成長した。

問(1) 空欄 [ 1 ] に当てはまる語句を、それぞれ(ア)~(オ)のなかから選んで、記号で答えなさい。

(ア) 神人 (イ) 官人 (ウ) 資人 (エ) 防人 (オ) 下人

問(2) 空欄  に当てはまる語句を、(ア)～(オ)のなかから選んで、記号で答えなさい。

(ア) 得度 (イ) 墾田 (ウ) 官職 (エ) 禄 (オ) 食封

問(3) 空欄  ～  に当てはまる語句を、漢字で答えなさい。

問(4) 下線部①について、土地税にあたるものは何というか。漢字で答えなさい。

問(5) 下線部②の不安定で苦しい生活を強いた要因として、国家が農民に稲を貸し付け、収穫時に利息とともに徴収する制度があったが、その制度を何というか。漢字で答えなさい。

問(6) 下線部③の作者は誰か。名前を漢字で答えなさい。

問(7) 下線部④に見られるような、地方政治の乱れを指摘した「意見封事十二箇条」を醍醐天皇に提出したのは誰か。名前を漢字で答えなさい。

II 室町文化に関する以下の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

1 代将軍の足利義満は、京都の 2 に金閣を建設したので、この時代の文化は、 2 文化と呼ばれている。それに対して、足利義政は、応仁の乱後に京都の 3 に銀閣を建てたことから、 3 文化と呼ばれるようになった。 3 山荘の東求堂同仁齋は、襖障子で間仕切りし、畳をしき、明障子を用いるという近代の和風住宅の原型となった。

南北朝の時代には、南朝の重臣であった北畠親房が北朝方との対戦中に 4 を執筆し、南朝の正統性を論じた。軍記物語では、南北朝の内乱について、後世まで読み継がれる 5 がつくられた。

この時代には、連歌が盛んになり、 6 は、連歌の規則を集大成した、『応安新式』を制定し、連歌の方式と地位を確立した。

15世紀なかごろには、関東管領の上杉憲実が 7 学校を再興した。ここでは、高度な教育が行われ、書籍も収集された。

問(1) 1 ~ 7 の空欄に入る最も適切な語句を漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①の住宅の様式を何というか。漢字で解答欄に記入しなさい。

問(3) 室町時代に活躍した絵師を、下記の選択肢から選び、解答欄に記号で記入しなさい。

- (ア) 狩野正信      (イ) 狩野芳崖      (ウ) 狩野長信      (エ) 狩野探幽  
(オ) 狩野秀頼

問(4) 室町文化の特徴として最も適切なものを、下記の選択肢から選び、解答欄に記号で記入しなさい。

- (ア) 東アジアとの交流が盛んであり、大陸文化と伝統文化の融合や武家文化と公家文化の融合が進み、広い基盤を持つ文化が生み出された。
- (イ) 幕府が鎌倉におかれたことや、鎖国の実施により、伝統文化の確立が進み、日本独自の文化が形成された。
- (ウ) 日本の伝統文化の代表とされる能・狂言・茶の湯・生け花はこの時代に洗練されたものであり、絵画では、浮世絵の黄金時代となった。
- (エ) この時代には、都市の有力な商工業者は、読み・書き・計算を必要としたため、和算が発達し、また、国文学の研究として『万葉代匠記』などが執筆され、和歌の新しい解釈が行われた。
- (オ) 幕府により寺院勢力がおさえられたため、仏教色のうすい、力感のある絵画や彫刻などが多く制作された。

Ⅲ. 次の〔A〕～〔C〕の史料（適宜読み下し等の修正をしています）と下記の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。（30点）

〔A〕

一 従来年御料私領共ニ本田にたばこ作申間敷旨被仰出候、若作候ものハ自今以後新地を開き可作事

……

一 田方ニ木綿作り申間敷事

一 田畑共ニ油の用として  作申間敷事

……

寛永廿年未八月廿六日被仰出

〔B〕

在方より江戸表江出居候者帰村取計方之儀御書付

在方より当地江出居候者、故郷江立帰度存候得共、路用金難調候歟、立帰候而も夫食農具代など差支候ものハ、町役人差添可願出候。吟味之上夫々御手当可被下候。若村方に故障之儀有之歟、身寄之もの無之、田畑も所持不致、故郷之外ニ而も百姓に成申度存候者ハ、前文之御手当被下、手余地等有之国々江差遣し、相応之田畑可被下候。妻子召連度旨相願候ハ、可任其意候。…

〔C〕

一、近年御府内江入り込み、裏店等借請居り候者の内ニハ妻子等も之無く、一期住み同様のものも之有るべし。左様の類ハ早々村方江呼び戻し申すべき事。

農業の生産力が高まると、史料〔A〕のような幕府の基本的な原則に反する事態が、ますます広がっていった。すなわち、生産力の発展により生じた余剰米や、さまざまな作物が、売ることを目的とした  として生産されるようになった。しかしその広がりには、一方に土地を失い貧稼ぎや  へと没落する農民を生み、他方に土地を集積して  に成長する農民を生むというように、農民の

階層分化を促した。これは、土地を所有し年貢を納める義務のある農民に基礎を置く幕藩体制を、根底から崩すことにつながっていく。領主が農民から安定的に年貢米を得ることが困難となり、年貢米を売って必要物資の購入にあてていた幕府や藩の財政はますます悪化した。また、こうした階層分化を背景に、村内で村役人らの不正を追及し、村入用の公開や村役人の交代を領主に訴える小百姓らの運動が各地で頻発した。

他方、一部の  や商人は、マニュファクチュアを行うまでになっていった。このことは、土地を失った農民たちが、資本家に雇われる  として生産に従事することを意味している。

封建制を崩すような動きに対して、幕府は、たとえば史料〔B〕や〔C〕などの対抗策をとったが、資本主義への動きを防ぐことはできなかった。

問(1) 史料〔A〕から〔C〕は、それぞれ江戸時代に出された法令であるが、これらの法令とは何か。それぞれ最も適切な語句を解答欄に書きなさい。

問(2) 史料〔A〕の空欄  に当てはまる作物は何か。漢字で解答欄に書きなさい。

問(3) 史料〔C〕の法令が出された時の将軍は誰か。漢字で解答欄に書きなさい。

問(4) 史料〔C〕の下線部①とは何か。最も適当な語句を、漢字で解答欄に書きなさい。

問(5) 空欄  ~  に当てはまる最も適当な語句を、漢字で解答欄に書きなさい。

問(6) 下線部②の農民のことを何と呼ぶか。最も適当な語句を、漢字で解答欄に書きなさい。

問(7) 下線部③に関連して述べた下記の文を読んで、空欄  ～  に当てはまる最も適切な語句を、漢字で解答欄に書きなさい。

諸藩は、大坂を中心に倉庫兼取引所としての  を設け、ここに領内からの年貢米や特産物を送り、  や  と呼ばれる商人を通じて販売して、貨幣収入を得ていた。(7と8は順不同)

問(8) 下線部④の運動とは何か。最も適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。



IV 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

大正から昭和初期における思想の特徴として、マルクス主義が日本の知識人層に強い影響を与えたことが挙げられる。1927年頃から37年頃まで、講座派と  派の間で日本の資本主義の性格をめぐる、論争が繰り広げられた。また、大正期の文学界では自然主義が退潮したが、森鷗外や夏目漱石らを指導者として多くの新しい作家が現れた。昭和初期の文学界では、社会主義運動と結びついたプロレタリア文学と、横光利一や川端康成に代表される  が二大潮流をなした。

1930年代に入ると、思想・文学・学問に対する弾圧がいちだんと厳しくなった。政府の厳しい取締りや国家主義的気運の高まりのなかで転向者があいつぎ、マルクス主義やプロレタリア文学の影響力も次第に衰えた。

1930年代後半には、日本の伝統的文化・思想への回帰という傾向が濃厚になり、反近代と民族主義をかかげる文学評論がさかんに発表された。1942年には  を会長として、日本文学報国会が結成された。

問(1) 空欄  ~  に当てはまる語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①について、『日本資本主義発達史講座』の編集、出版に関わった人を下記の選択肢のなかから選び、記号を解答欄に答えなさい。

- (ア) 山田盛太郎 (イ) 大杉栄 (ウ) 向坂逸郎 (エ) 矢内原忠雄  
(オ) 山川均

問(3) 下線部②について、作家と作品名が正しく対応している組み合わせを下記の選択肢のなかから選び、記号を解答欄に答えなさい。

- (ア) 谷崎潤一郎『阿部一族』 (イ) 永井荷風『明暗』  
(ウ) 志賀直哉『暗夜行路』 (エ) 菊池寛『和解』  
(オ) 武者小路実篤『カインの末裔』

問(4) 下線部③について、『蟹工船』の作家を漢字で答えなさい。

問(5) 下線部④について、1933年自由主義的刑法学説をとっていた京都帝大教授が文相の圧力で休職処分を受けた。この京都帝大教授の名前を解答欄に漢字で答えなさい。また、このときの文相は戦後首相となる。この文相の名前を解答欄に漢字で答えなさい。

問(6) 下線部⑤について、社会民衆党を脱党し、1932年に日本国家社会党の結成の中心となった人を下記の選択肢のなかから選び、記号を解答欄に答えなさい。

- (ア) 佐野学      (イ) 鍋山貞親      (ウ) 鈴木茂三郎      (エ) 赤松克麿  
(オ) 河上肇

問(7) 下線部⑥について、亀井勝一郎や保田与重郎らが1935年に刊行し、後にこのグループを表す名称となった雑誌名を漢字で解答欄に答えなさい。